

- 問1 聖徳太子（厩戸皇子）が冠位十二階を定めた背景には、どのような意図があったと考えられますか。当時の政治状況を踏まえた説明を選びなさい。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 中国の唐から伝わった最新の法典に基づき、全国に一律の税制と身分制度を導入するため。 | 2. 家柄の良い豪族をより厚遇することで、天皇に対する忠誠心を高め、国内の反乱を抑えるため。 | 3. 武士の台頭に対抗するため、公家の中で才能ある若手を抜擢し、軍事を強化するため。 | 4. 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。 |
|--|--|--|---|
- 問2 7世紀後半の飛鳥時代において、壬申の乱という後継者争いに勝利して即位し、天皇中心の中央集権的な律令国家の建設を本格的に進めた人物は誰ですか。（2017年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 飛鳥時代から江戸時代までの重要人物をまとめた記述において、壬申の乱での勝利を通じて即位し、天皇を中心とした国づくりを進めたとされる人物の事績として、最も適切な説明はどれか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|
| 1. 律令政治の立て直しを目的として、都を平城京から平安京へと移した。 | 2. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本初の本格的な都とされる藤原京の造営に着手した。 | 3. 墾田永年私財法を出し、開墾した土地の永久私有を認めることで農地の拡大を図った。 | 4. 冠位十二階や十七条の憲法を制定し、家柄にとらわれない人材登用や政治の心得を示した。 |
|-------------------------------------|---|--|--|
- 問4 日本最古の銅銭とされる「富本銭」に関する説明として、歴史的な背景や事実に基づいた適切な記述はどれですか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 室町時代に足利義満が明との貿易を行うために、中国から輸入して国内の市で使用させた。 | 2. 元明天皇が平城京への遷都に合わせて発行し、役人の給与として初めて全国に普及した。 | 3. 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。 | 4. 平安時代に唐から輸入された貨幣をモデルにして、日本国内で初めて流通した鉄銭である。 |
|--|---|---|--|
- 問5 法隆寺が現在も世界的に高く評価されている最大の理由として、建築史の観点から正しい説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。 | 2. 大陸の影響を一切受けずに、日本固有の技術のみで設計された最初の寺院であるため。 | 3. 江戸時代に徳川家光によって再建された、国内最大の木造建築であるため。 | 4. 日本で初めて、レンガと石材を組み合わせて作られた寺院であるため。 |
|---------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問6 推古天皇の摂政として、才能や功績に応じて位を与える冠位十二階の制度や、役人の心構えを示す十七条の憲法を定めた人物は誰か。（2018年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 天武天皇 | 3. 中臣鎌足 | 4. 天智天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天平文化 | 2. 飛鳥文化 | 3. 東山文化 | 4. 国風文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 7世紀初めの飛鳥時代において、推古天皇の摂政である聖徳太子が、豪族の蘇我馬子と協力して行った政治や外交の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|
| 1. 律令制度を完成させるため、中臣鎌足とともに大化の改新に着手した。 | 2. 唐の制度にならって平城京を建設し、最澄や空海を遣唐使とともに随行させた。 | 3. 仏教を広めるために鑑真を日本に招き、東大寺に大仏を建立して国を治めようとした。 | 4. 中国の進んだ制度や文化を取り入れるため、小野妹子らを遣隋使として派遣した。 |
|-------------------------------------|---|--|--|
- 問9 飛鳥文化を象徴する法隆寺に関する記述として、歴史的背景を含めて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 最澄が比叡山に開いた天台宗の拠点であり、平安時代以降の仏教の発展に大きく寄与した。 | 2. 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。 | 3. 聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺の総本山として、国家の保護を受けて発展した。 | 4. 奥州藤原氏によって東北地方に建てられ、浄土信仰に基づく金色の建築様式が特徴である。 |
|--|---|---|--|
- 問10 天智天皇の死後の皇位継承争いとその後の政治の動きについて説明した文として、正しいものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 争いに勝利した大海人皇子が即位し、律令制度を基盤とした天皇中心の国家体制の整備が進んだ。 | 2. この争いを機に武士の勢力が台頭し、政治の実権が貴族から武士へと移り変わるきっかけとなった。 | 3. この争いによって、中国の唐との外交関係が完全に断絶し、国風文化が発展する要因となった。 | 4. 争いの結果、律令制度は廃止され、地方の有力豪族による分割統治が再び行われるようになった。 |
|---|--|--|---|
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が仏教や儒教の教えを取り入れ、役人としての心得を説くために制定した、日本最初の成文法を何といいますか。（2020年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 十七条の憲法 | 3. 武家諸法度 | 4. 大宝律令 |
|----------|-----------|----------|---------|
- 問12 701年に大宝律令が制定された際、政治の中心地として機能していた都について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、この都は現在の奈良県橿原市付近に位置しており、日本で初めての本格的な都城（街並みが整備された都）として知られています。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京 | 2. 孝徳天皇によって難波の地に置かれ、大化の改新の舞台となった難波京 | 3. 聖武天皇の時代に国際色豊かな文化が栄えた平城京 | 4. 桓武天皇によって遷都され、平安時代を通じて政治の中心となった平安京 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
- 問13 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため | 2. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため | 3. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため | 4. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため |
|--|---|---|--|
- 問14 663年に朝鮮半島で起こった白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大和政権は九州の防衛を強化しました。このとき、博多湾から太宰府へ侵攻してくる敵を防ぐために築かれた、全長約1.2kmに及ぶ大規模な土塁と堀で構成された防衛施設を何といいますか。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 烽火 | 2. 水城 | 3. 山城 | 4. 防人 |
|-------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 特定の有力な氏族が政治を動かす仕組みから、天皇を中心とする役人による組織的な政治へ転換するため。	当時の政治は、蘇我氏などの有力な豪族が強大な権力を持っていました。聖徳太子や推古天皇は、こうした特定の家柄に依存する政治から脱却し、天皇が直接任命した「役人」による効率的な統治を目指しました。冠位十二階は、個人の能力を基準に役人を組織に組み込むことで、天皇の権威を高め、大陸の先進的な国家体制に近づけようとする目的がありました。
問2	答え 4 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱に勝利した後、強力な指導力を発揮して律令国家の土台を築きました。他の選択肢のうち、聖武天皇と桓武天皇は8世紀に活躍した天皇であり、推古天皇は7世紀前半の天皇です。
問3	答え 2 飛鳥浄御原令の編纂や、日本初の本格的な都とされる藤原京の造営に着手した。	壬申の乱に勝利した天武天皇は、律令の先駆けとなる飛鳥浄御原令の編纂を命じ、より強力な中央集権体制を象徴する藤原京の建設を進めました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子、聖武天皇、桓武天皇の事績です。
問4	答え 3 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。	飛鳥時代の天武天皇が「今より以後、必ず銅銭を用いよ」という詔（みことり）を出した時期と重なる7世紀後半につくられました。1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から、鋳型などの製作道具とともに大量に発見されたことで、和同開珎よりも古いものであることが定説となりました。広く一般の市場で流通したというよりは、国家の威信を示す目的や儀式的な意味合いが強かったと推測されています。
問5	答え 1 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。	法隆寺の西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初頭にかけて再建されたものと考えられていますが、それでも1300年以上の歴史を持ち、木造建築としては世界最古の規模を誇ります。ヒノキ材を巧みに使い、長期間の重さに耐える工夫がなされた建築技術の高さが、世界文化遺産の選定においても決定的な要素となりました。
問6	答え 1 聖徳太子	推古天皇の協力者として、天皇中心の国づくりを進めたのは聖徳太子である。中臣鎌足は中大兄皇子とともに大化の改新を行い、天武天皇は壬申の乱の後に即位して律令国家の建設を進めた人物であるため誤り。
問7	答え 2 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見えて取ることができます。
問8	答え 4 中国の進んだ制度や文化を取り入れるため、小野妹子らを遣隋使として派遣した。	聖徳太子は推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力して天皇中心の政治を目指しました。その一環として、当時中国を統一していた隋の高度な文化や制度を学ぶため、607年に小野妹子を遣隋使として派遣しました。中臣鎌足は大化の改新、遣唐使は隋の後の唐に送られた使節、鑑真や大仏建立は奈良時代の出来事であり、時期や人物が異なります。
問9	答え 2 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。	法隆寺は7世紀初め、聖徳太子（厩戸皇子）の指導のもとで建立され、日本における初期の仏教興隆を象徴する存在です。他の選択肢は、東大寺（奈良時代・聖武天皇）、中尊寺（平安末期・藤原氏）、延暦寺（平安初期・最澄）に関する説明であり、時代背景や建立の主体が異なります。
問10	答え 1 争いに勝利した大海人皇子が即位し、律令制度を基盤とした天皇中心の国家体制の整備が進んだ。	壬申の乱に勝利した天武天皇は、乱によって豪族たちの勢力が弱まったことを背景に、天皇への権力集中を図りました。これが律令国家（法に基づく中央集権国家）の形成を加速させ、次代の持統天皇による飛鳥浄御原令の施行や大宝律令の制定へとつながっていきました。
問11	答え 2 十七条の憲法	聖徳太子は推古天皇の摂政として政治を行い、天皇を中心とした国家体制を築こうとしました。その一環として、当時権力を持っていた豪族たちに、役人としての道徳的な規範や心構えを示すためにこの法を定めました。「和をもって貴しとなす」という第一条が特によく知られています。
問12	答え 1 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京	藤原京は、694年から710年まで都として機能した場所です。701年の大宝律令制定時の都であり、それまでの宮殿中心の形態から、中国（唐）の都制を参考にした大規模な市街地を持つ「都城」へと進化した最初の例です。位置は現在の奈良県橿原市にあたります。
問13	答え 2 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真は費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問14	答え 2 水城	白村江の戦いで敗北した大和政権は、唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。特に九州の政治・外交の拠点であった太宰府を守るため、その北側に巨大な堤防のような土塁を築き、さらに外側に水を蓄えた堀を設けることで、博多湾方面からの敵の進入を阻止しようとしていました。この施設は「水城」と呼ばれ、現在の福岡県にその遺構が残っています。